



2026年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年6月13日

上場会社名 株式会社テクノロジーズ 上場取引所 東
 コード番号 5248 URL <https://technologies-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良原広樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 宮内駿 (TEL) 03(6432)7524
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第1四半期の連結業績(2025年2月1日~2025年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第1四半期	2,480	42.1	610	—	600	—	126	—
2025年1月期第1四半期	1,745	702.0	△3	—	△3	—	△39	—

(注) 包括利益 2026年1月期第1四半期 395百万円(—%) 2025年1月期第1四半期 △37百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	7.47	—
2025年1月期第1四半期	△2.35	—

- (注) 1. 2025年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は潜在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。2026年1月期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。
2. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年1月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。
3. 2024年8月1日付で普通株式1株につき6株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第1四半期	18,153	4,513	7.6
2025年1月期	18,949	4,397	6.6

(参考) 自己資本 2026年1月期第1四半期 1,382百万円 2025年1月期 1,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年1月期	—	—	—	—	—
2026年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の連結業績予想(2025年2月1日~2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,935	43.4	2,558	47.1	2,425	48.7	552	107.7	32.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年1月期1Q	16,922,400株	2025年1月期	16,922,400株
② 期末自己株式数	2026年1月期1Q	612株	2025年1月期	612株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年1月期1Q	16,921,788株	2025年1月期1Q	16,921,788株

(注) 2024年8月1日付で普通株式1株につき6株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、2023年7月27日に行われた株式会社エコ革との企業結合について、2024年1月期中間連結会計期間に暫定的な会計処理を行っていましたが、前中間連結会計期間に確定したため、前第1四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド増加、国内需要の回復等による社会経済活動の正常化が進み緩やかな回復傾向となりました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格高騰や中東などにおける地政学リスクの高まり等による経済活動への影響も大きく、先行きは依然として不透明な状況が続いております。また、少子高齢化や人口減少を背景に労働生産性の向上を図っていくことが課題となっており、既存システムの刷新やデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進によるIT投資需要が高まっております。

このような環境の下、当社グループは、「テクノロジーでより面白く、より便利な世の中を創造する」というビジョンのもと、映像ソフトウェア開発・AIといった技術領域や企業向けSaaS、太陽光発電設備の施工販売といったビジネス領域において、お客様にとって最大限の価値を創造できるようなサービスの提供に取り組んで参りました。具体的には、ITソリューション事業、SaaS事業、再エネソリューション事業の3事業を展開しております。

当社グループは、ITソリューション事業において、主にエンタメ映像ソフトウェア開発やAI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心とした売上を計上しました。SaaS事業においては、人材派遣会社向け管理システム「jobs」を中心に販売実績を積み重ねてきました。再エネソリューション事業においては、太陽光発電設備の施工・販売による売上を計上しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が、2,480,489千円（前年同四半期増減率42.15%）、営業利益は、610,703千円（前年同四半期増減率-%）、経常利益は、600,196千円（前年同四半期増減率-%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、126,409千円（前年同四半期増減率-%）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業においては、①エンタメ映像ソフトウェア開発、②AI等のデジタル技術を利用したシステム・アプリケーション開発を中心に展開しており、売上は堅調に推移しております。

その結果、売上高は、228,422千円（前年同四半期増減率76.25%）、セグメント利益は、30,624千円（前年同四半期増減率889.45%）となりました。

(SaaS事業)

SaaS事業においては、主に自社プロダクトである人材派遣会社向け管理システム「jobs」の開発及び販売をしております。世界的な物価高騰等の影響下において多くの人材派遣会社がコスト削減を強いられる中、当社システムは価格体系において定額制を採用していることから、お客様に安心して利用頂ける製品となっており、継続して新規顧客を獲得することができております。また、システム導入に不慣れな企業様に対し、システム導入後のカスタマーサポートの体制を強化していることで解約率も改善傾向を維持しております。

その結果、売上高は、48,703千円（前年同四半期増減率43.82%）、セグメント損失は、28,752千円（前年同四半期増減率-千円）となりました。

当事業部においては今後も中長期的に堅調な成長が見込まれると思われまます。

(再エネソリューション事業)

再エネソリューション事業においては、現在社会全体としてSDGsの達成や、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みが注目され、成長が見込まれる同業界において、長年の実績に基づくワンストップ体制でのサービスを提供しており、売上は堅調に推移しております。

その結果、売上高は、2,203,363千円（前年同四半期増減率39.32%）、セグメント利益は、608,831千円（前年同四半期増減率1781.80%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、1,109,794千円減少し、9,235,995千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,510,724千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して313,317千円増加し、8,917,342千円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が129,196千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて796,476千円減少し、18,153,338千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,045,333千円減少し、7,869,813千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,651,287千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は132,466千円増加し、5,769,822千円となりました。これは、借入等による長期借入金の増加157,335千円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて912,867千円減少し、13,639,635千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて116,391千円増加し、4,513,703千円となりました。これは主に、利益剰余金が127,229千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.99ポイント増加し、7.61%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画通りに進捗していることから2025年3月14日公表の「2025年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,358,658	4,480,191
受取手形及び売掛金	3,238,967	728,243
商品及び製品	51,494	42,514
仕掛品	46,672	93,419
原材料及び貯蔵品	35,638	44,854
未成工事支出金	2,523,210	2,440,424
その他	2,103,933	1,418,097
貸倒引当金	△12,786	△11,749
流動資産合計	10,345,789	9,235,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	171,888	224,285
機械装置及び運搬具（純額）	518,528	647,725
工具器具及び備品（純額）	30,988	31,469
土地	6,372,865	6,463,920
リース資産（純額）	132,498	122,170
建設仮勘定	8,415	35,314
有形固定資産合計	7,235,184	7,524,885
無形固定資産		
のれん	44,931	44,148
その他	50,360	76,364
無形固定資産合計	95,292	120,513
投資その他の資産		
投資有価証券	30,470	31,898
長期貸付金	5,640	9,230
その他	1,246,757	1,240,136
貸倒引当金	△9,319	△9,319
投資その他の資産合計	1,273,547	1,271,944
固定資産合計	8,604,025	8,917,342
資産合計	18,949,814	18,153,338

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,527,432	876,145
短期借入金	4,035,445	4,249,447
1年内返済予定の長期借入金	835,469	846,057
1年内償還予定の社債	328,000	150,000
前受収益	118,275	126,005
未払法人税等	98,592	339,091
前受金	525,615	817,344
その他	446,316	465,721
流動負債合計	8,915,146	7,869,813
固定負債		
長期借入金	1,848,355	2,005,691
社債	285,000	285,000
リース債務	100,296	92,369
長期前受収益	1,888,485	1,863,075
訴訟損失引当金	260,000	260,000
資産除去債務	33,868	33,949
繰延税金負債	865,895	843,425
その他	355,453	386,310
固定負債合計	5,637,355	5,769,822
負債合計	14,552,502	13,639,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,300	630,300
資本剰余金	221,343	221,343
利益剰余金	403,870	531,100
自己株式	△328	△328
株主資本合計	1,255,186	1,382,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	△235
その他の包括利益累計額合計	249	△235
新株予約権	13,384	10,640
非支配株主持分	3,128,493	3,120,882
純資産合計	4,397,312	4,513,703
負債純資産合計	18,949,814	18,153,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
売上高	1,745,022	2,480,489
売上原価	1,398,094	1,461,123
売上総利益	346,928	1,019,365
販売費及び一般管理費		
役員報酬	25,766	29,873
給与手当	75,465	97,810
支払手数料	69,650	62,362
その他	179,380	218,615
販売費及び一般管理費合計	350,261	408,662
営業利益又は営業損失(△)	△3,333	610,703
営業外収益		
受取利息	2,237	4,559
貸倒引当金戻入益	21,000	1,036
受取精算金	1,751	1,164
その他	7,139	20,254
営業外収益合計	32,128	27,015
営業外費用		
支払利息	24,440	31,806
支払保証料	3,274	1,796
その他	4,893	3,919
営業外費用合計	32,607	37,522
経常利益又は経常損失(△)	△3,812	600,196
特別利益		
固定資産売却益	11,034	25,221
特別利益合計	11,034	25,221
特別損失		
固定資産売却損	4,176	0
固定資産除却損	10	—
特別損失合計	4,187	0
税金等調整前四半期純利益	3,034	625,417
法人税、住民税及び事業税	178	250,068
過年度法人税等	—	△222
法人税等調整額	39,934	△21,369
法人税等合計	40,113	228,476
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,078	396,940
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,651	270,531
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,730	126,409

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△37,078	396,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,426
その他の包括利益合計	—	△1,426
四半期包括利益	△37,078	395,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,730	126,744
非支配株主に係る四半期包括利益	2,651	268,769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	再エネソリ ューション 事業	ITソリューシ ョン事業	SaaS事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	804,008	129,599	—	933,608	—	933,608
一定の期間にわたり移 転される財	736,775	—	33,865	770,640	—	770,640
顧客との契約から生じ る収益	1,540,783	129,599	33,865	1,704,249	—	1,704,249
その他の収益(注2)	40,773	—	—	40,773	—	40,773
外部顧客への売上高	1,581,556	129,599	33,865	1,745,022	—	1,745,022
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	3,297	—	3,297	△3,297	—
計	1,581,556	132,897	33,865	1,748,319	△3,297	1,745,022
セグメント利益又は損失 (△)	32,353	3,095	△38,782	△3,333	—	△3,333

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 「その他の収益」は、不動産賃貸収入等であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	再エネソリ ューション 事業	ITソリューシ ョン事業	SaaS事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	1,396,090	228,422	4,946	1,629,460	—	1,629,460
一定の期間にわたり移 転される財	714,602	—	43,756	758,359	—	758,359
顧客との契約から生じ る収益	2,110,693	228,422	48,703	2,387,819	—	2,387,819
その他の収益(注2)	92,670	—	—	92,670	—	92,670
外部顧客への売上高	2,203,363	228,422	48,703	2,480,489	—	2,480,489
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	3,206	—	3,206	△3,206	—
計	2,203,363	231,628	48,703	2,483,695	△3,206	2,480,489
セグメント利益又は損失 (△)	608,831	30,624	△28,752	610,703	—	610,703

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 「その他の収益」は、不動産賃貸収入等であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	44,155千円	90,746千円
のれんの償却額	783〃	783〃